

1 学校教育目標・重点目標

学校教育目標	
豊かな心と広い視野、創造的な姿勢を持ち、主体的に社会貢献できる、心身ともにたくましい人間を育てるために、以下の3点を目指した教育を推進する	
1 自らの生き方を考えるとともに、思いやりの心と社会規範意識を持ち、時代の変化に対応できる柔軟かつ能動的で個性豊かな人間性の醸成 2 自分の興味や適性を認識し、将来の主体的な職業選択の実現に向けて着実に努力していく能力・学力を持つ生徒の育成 3 地域の自然や歴史・伝統を理解し、地域の産業や文化の発展に寄与するとともに、広く世界に目を向け、社会の発展に創造的に貢献できる生徒の育成	

今年度の重点目標	
① 信州の総合学科高校としてのあり方を再検討し、地域との連携を充実させたキャリア教育体制を更に強化する	
② 主体的・探究的な学びをとおして、生徒一人ひとりが目的意識を持ち、校内外の学習活動に取り組めるよう支援する	
③ 基本的生活習慣を向上させ、安全安心な環境を維持し、いじめを許さない人権教育を推進する	

2 評価項目・評価の観点

対象	評価項目	評価の観点	重点	成果と課題	評価	今後の取り組み
企画・推進	組織の連携	各部署と連携をとりながら、現状の課題の共有、将来に向けた改善、対応に取り組むことができたか	①②③	将来に向け、先進校視察や職員研修等おこない本校の改善や向上できる点を探ることができた。しかし、各部署との連携をより図ることが課題である。	B	各部署との連携をさらに図り、学校全体の組織として課題の改善や向上に取り組みたい。
教務	情報の共有・発信	生徒の基本的生活習慣の向上や安全安心な環境維持のため、各種情報を適切に生徒・保護者、職員に提供することができたか	①	学校生活および家庭での日常生活が無事に送れるよう注意喚起を中心に、オクレンジャーを利用しながら情報発信の充実が図れた。	B	感染症対策や、列車の遅延等、スムーズな情報発信が行われていくよう心掛ける。
		地域の方や中学生に、ホームページ、学校開放を通じて、総合学科高校としての本校の教育活動や魅力を伝えることができたか	②	本校ホームページ等の充実を図り、公開授業や体験入学等の情報および本校の教育活動の様子を適時各中学校・地域へ発信できた。公開授業は、昨年度を上回る方に来校していただくことができた。	A	学校開放、公開授業、中学生体験入学等の参加者がさらに増加するよう、学校の魅力を発信し、地域に開かれた教育現場を目指す。
キャリア教育	学力の向上	生徒一人ひとりが基礎学力を定着できるように、学力向上を目指した主体的・探究的な授業を行うことができたか	③	長期休業明けに実施する基礎力診断テストへ向けて学年全体で取り組む姿勢は定着した。タブレット個人で用意となつて4年目となった。探究活動での情報集めや発表には欠かせないものとなつてはいるが、コロナ禍でのオンライン対応以上での学びへの活用が課題である。	B	生徒に適した教材をデジタル、アナログ両面から検討し、基礎学力の定着から学力向上を目指した主体的・探究的な学びにつなげていく。
		進路実現のため、放課後の学力補充や長期休業を活用して、充実した補習を実施することができたか	③	各種検定対策や個別指導は行うことができたが、学習集団の形成にはいたらなかった。	B	進路実現に合わせた科目選択を行い、苦手な科目を敬遠して進路選択を狭めたり、進学・就職先でついていけなかつたりすることがないよう指導、支援する。
産業社会と人間総合的な探究	指導体制の充実	全職員が一丸となって生徒一人ひとりに応じた取組を支援することができたか	②	各職員に3~4名に生徒を割り振り、作文・小論文指導や面接対策指導を行つた。自ら動けない生徒、受け身の生徒が増えているのが課題である。	B	今後も継続して、声かけを増やして指導を行う。
	地域との連携を充実させたキャリア教育の推進	生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、「産業社会と人間」をはじめとし、インターンシップや地域との連携事業の中でキャリア教育が十分に行なうことができたか	①②	生徒の社会的・職業的自立に向け、しんきんビジネスフェア、産業フェア、インターンシップ、企業説明会等、企業の方と接する機会を充実させることができた。	A	今後、生徒の自覚をより促すためにも、目的意識や内容を産社担当の先生方で共有し合い、組織として生徒に指導していきたい。
科目選択(時間割)	社会・地域教育の充実	社会や地域について、生徒一人ひとりが理解を深め、総合学科高校の生徒として広い視野と創造的な姿勢を持てるように職員全体で支援することができたか	①	社会や地域について、校外学習等を充実させ、生徒に理解を深めさせるような機会を増やし工夫することができた。	B	今後、より理解を深めさせるためにも、目的意識を生徒に持たせる指導をさらにしていきたい。
	主体的探究的な学びの充実	生徒一人ひとりの主体的・探究的な学びを職員全体で支援することができたか	②	産業社会と人間や総合的な探究の時間以外でも各科目で主体的・探究的な学習活動の機会が増えている。	B	主体的探究的な学びを行う科目をより広げられるように支援していきたい。
生徒支援	科目選択に対する支援の充実	生徒の進路希望に応じた科目選択を行うための配置表(時間割)を作成することができたか	②③	各教科の職員定数などの制約はあったものの、多様化する生徒の希望にできる限り応えられるように講座配置を工夫することができた。	A	進路希望と科目選択がより適切に結びつくよう、各部署と連携を図りながら科目選択支援の質向上を目指す。
生徒支援	生徒支援の充実	身だしなみ、挨拶の励行、時間厳守を重点課題とし、基本的生活習慣や携帯電話のマナーを向上させることができたか	③	長期休業明けの身だしなみ検査や進路活動・行事の事前指導などを実施することで概ね身だしなみが向上した。	A	今後も継続的に指導を行い基本的生活習慣を身に付け、落ち着いた学校生活が送れるようにサポートする。
		生徒・保護者、担任等からの相談に適切かつ迅速に対応することができたか	③	カウンセリング、いじめアンケート、支援会議、情報交換会などの実施を通じて、対応することができた。関係各所との更なるつながりを強めてゆく必要がある。	A	関係各所との更なる連携に努めていきたい。
		人権・道徳教育	③	人権映画鑑賞・主権者教育を通じて、人権を尊重する態度や社会規範意識を向上させることができた。	A	今後も映画鑑賞や主権者教育を通じた教育を行っていきたい。
生徒会	生徒会活動の支援	生徒の自主的活動の企画・運営を援助し、生徒が主体的に活動できるように支援することができたか 生徒会最大の行事である文化祭では、活動を通じて職員全体で生徒を支援することができたか	②	本部会や執行委員会など、生徒が主体的に活動する場面が多く見られた。文化祭では、中野西高校との共同など、新たな企画・運営を行なうことができた。	A	今後も生徒が自主的に活動できるよう、また、文化祭での中野西高校との共同企画が継続していくように支援していきたい。
		ボランティア活動や地域行事へ自主的に参加できるよう支援することができたか	③	地域の行事やボランティア等に参加し、地域の方と交流する機会を持つことができた。また、中野西高校および南宮中学校の生徒会と連携してゴミ拾いボランティアの活動ができた。	A	地域行事やボランティア活動に自主的に参加する生徒が増えるように支援していく。中野西高校や中学校との共同プロジェクトを更に発展させていきたい。
		クラブ活動の充実	①	クラブ説明会、部室一斉清掃を行つた。新入生クラブ加入率は例年並みだったが、途中でクラブをやめてしまう生徒がやや多かった。	B	クラブ活動の充実と加入率の向上について、新しい取り組みができるか考えていきたい。
図書・保健	図書	図書館運営の充実	②③	生徒の主体性を伸ばすために、キャリア形成につながるコーナーを設置するなどの取組を行つた。	B	図書のもつ力を日常生活で実感できるよう、利用促進にむけて取り組んでいきたい。
	保健	健康で過ごしやすい学校づくり	②③	全教育活動を通じて健康観察を実施することで、感染症対策や健康状態を把握することができた。	A	心身の健康のための安全安心な学校環境づくりに今後も取り組んでいきたい。
視聴覚・環境整備	視聴覚	視聴覚運営の充実	②③	文化祭のステージの機材準備では、軽音の顧問の先生の援助を得てスムーズに運営することができた。校内放送やクラスマッチも円滑に準備、実行することができた。	A	引継ぎをスムーズに行い、次年度に支障のないようにしていきたい。
	環境整備	資源のリサイクル化の推進	①	ペットボトル・缶・プラスチックの分別については、係で最終分別できている。文化祭の段ボールについても分別できたが、文化祭中のプラスチック分別はできない。	A	清掃分担の先生に、分別指導を引き続きお願いしていきたい。
涉外	同窓会	同窓会の充実	②	県大会以上に進んだ生徒及びクラブへの補助および懸垂幕の掲示を行つた。環境事業においては、緑地の整備を行つた。	A	クラブ活動の充実のための援助・協力をうともに、学習においても継続的な支援と環境整備を行つていきたい。
	PTA	生徒と保護者に寄り添つたPTA活動の推進	②	保護者と教職員がお互いを理解しあい、生徒に寄り添つたPTA活動を行うことができた。	A	クラス減に伴い、専門部の教養部と環境部の人数をそれぞれ1人ずつ減らす予定である。